

多文化共生シンポジウム ～やさしい日本語でつながろう～ 実施報告

1. 目的

区民一人ひとりが多文化共生についての理解を深めるとともに、多文化共生社会の実現に向けて活動するうえで、外国人に対する情報発信のツールとなる「やさしい日本語」の普及を目的とする。

2. 開催日時

令和元年 12月5日(木) 午後6:00～8:00 (開場:午後5:30)

3. 開催場所

北沢タウンホール

4. 来場者数

164名

5. 内容

第1部 基調講演「多文化共生の地域づくり」

講師:山脇 啓造 氏(明治大学国際日本学部教授)

第2部 講演「やさしい日本語のインパクト」

講師:吉開 章 氏(やさしい日本語ツーリズム研究会代表)

第3部 パネルディスカッション「やさしい日本語と多文化共生」

コーディネーター:山脇 啓造 氏

パネリスト :吉開 章 氏

ゴロウィナ・クセーニヤ 氏(イクリスせたがや副代表)

保坂 展人 世田谷区長

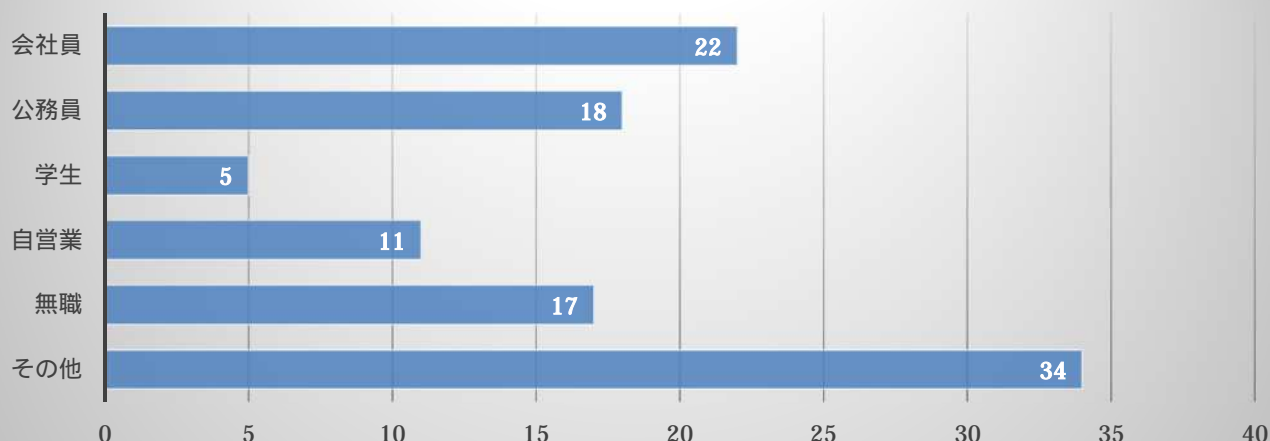
6. その他

手話通訳、パソコン文字通訳有

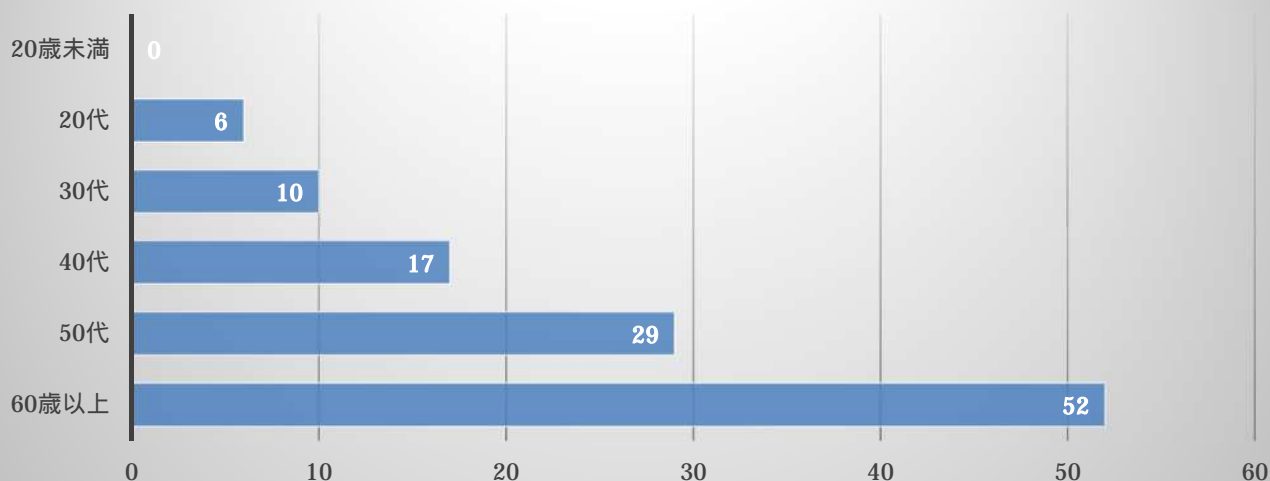
非公開型インターネット掲示板「Sli.do」による質疑応答を実施

アンケート集計結果（164人中119人回答） 未回答含む（設問による）

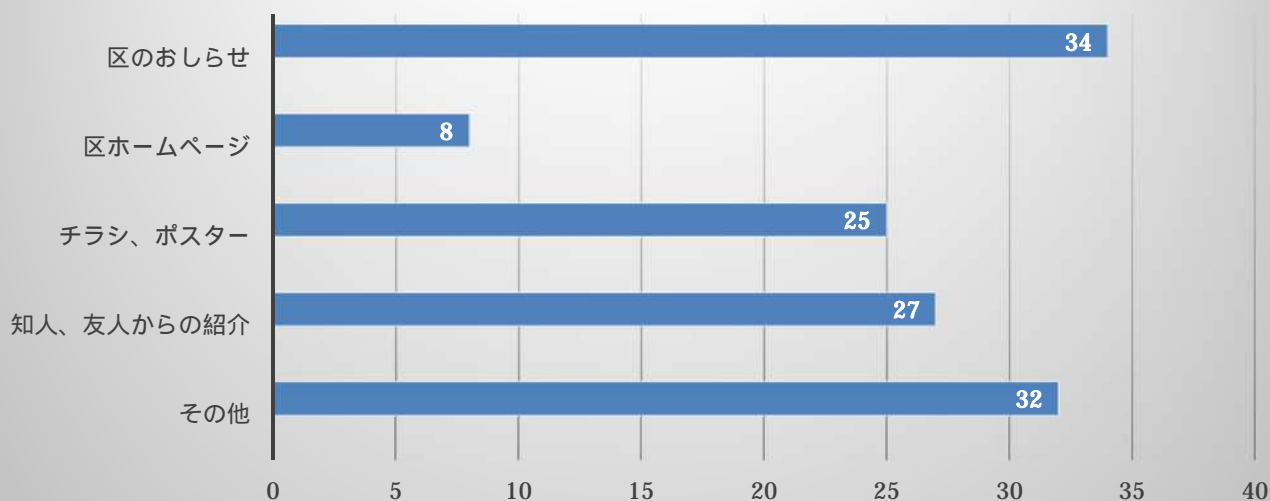
1. あなたについて（1）職業



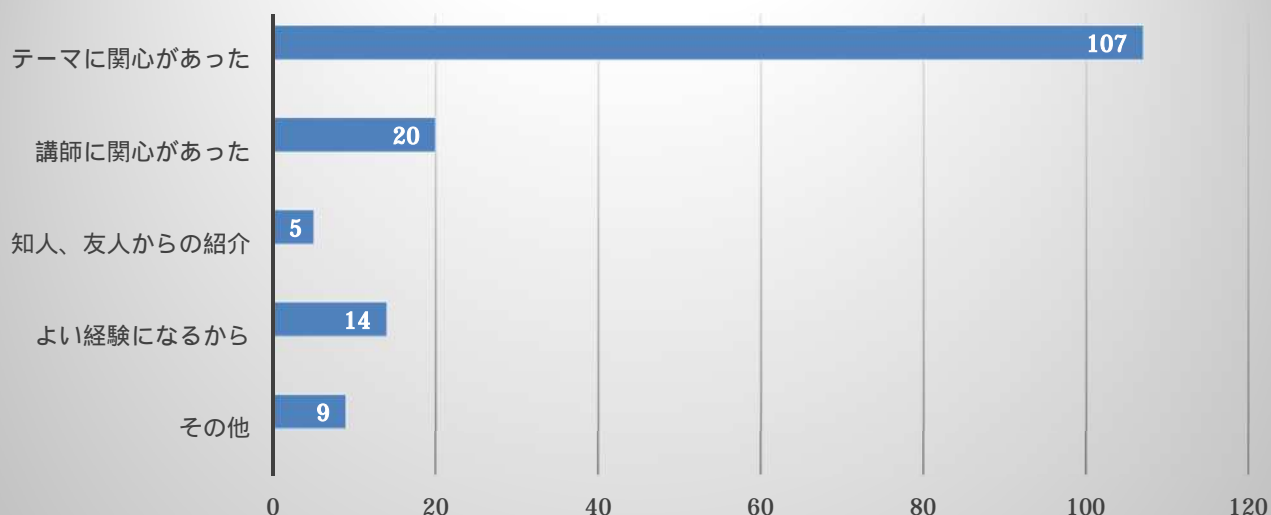
1. あなたについて（2）年齢



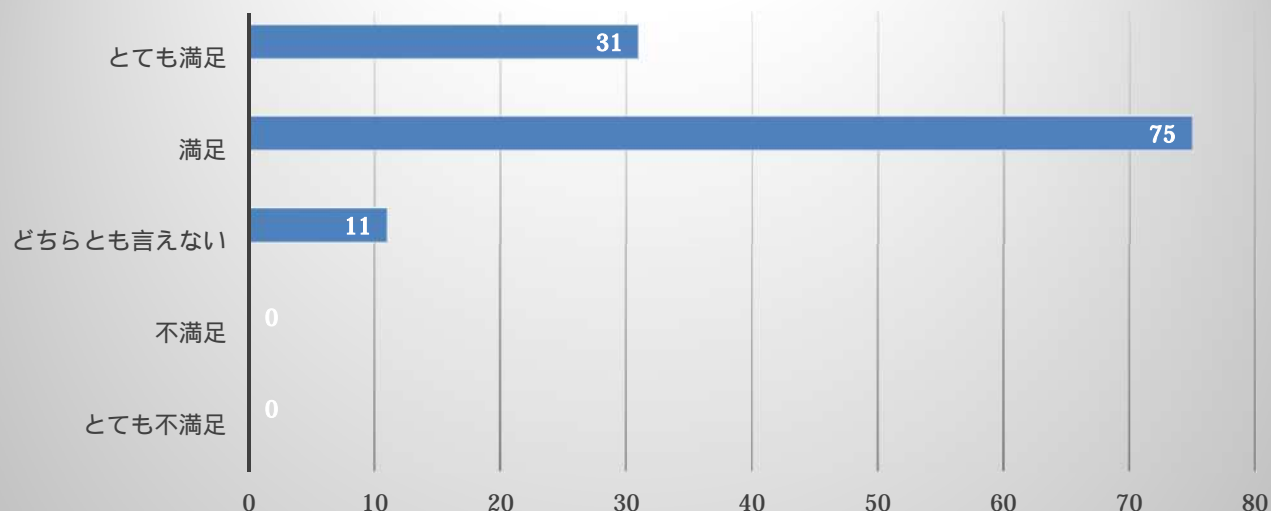
2. このシンポジウムを何でお知りになりましたか（いくつでも）。



3. このシンポジウムに参加した理由は何ですか（いくつでも）。



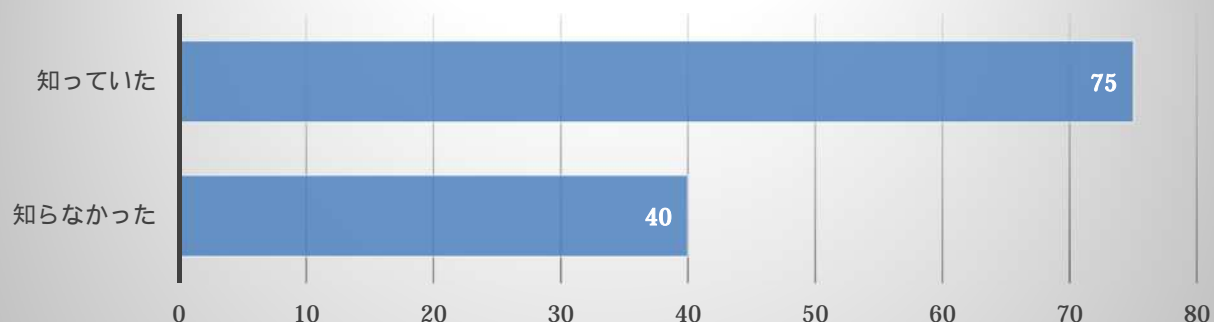
4. 本日のシンポジウムの満足度や感想を教えてください。



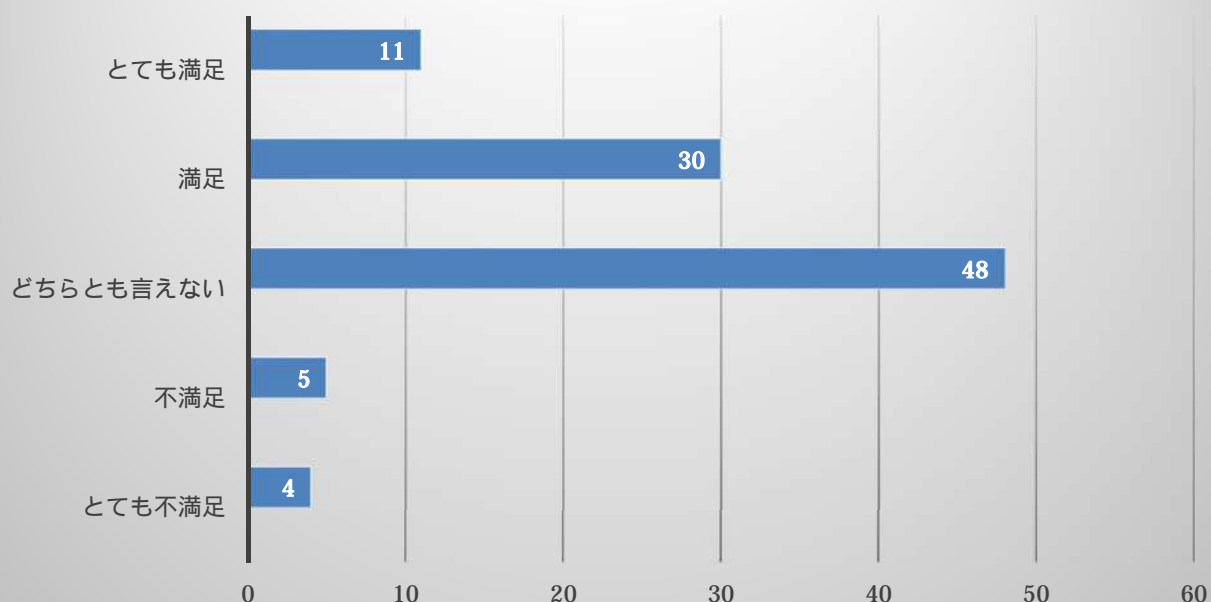
【ご意見（抜粋）】

- ・研究者や実践者、行政の長、そして在留外国人と様々な多様な視点の方の話が聞けて、とても刺激のある有意義な会だった。
- ・私はろう者です。ろう者の日本語や第3者返答について講演されるのを初めて目にして嬉しく思う。日頃から当事者として周りの人に言ってきたけれど、当事者でもない人が皆さんに訴えるのは初めて見た。
- ・シンポジウムに参加するまでは、外国人に使用する言語は英語が良いのではないかと考えていた。「やさしい日本語」がマイノリティーの方たちにとって有効であることを知り勉強になった。
- ・とても色々考える機会となった。私もブラジル訳7年、アメリカと海外生活をし、外国人として大変苦労した。現地の人々にやさしいポルトガル語を使ってもらったことを思い出した。私も、やさしい日本語を使ってお手伝いしていきたいと思う。
- ・地域の目線で、多文化共生について具体的な話を聞くことができ良かった。
- ・シンポジウムに参加するまでは、外国人に使用する言語は英語が良いのではないかと考えていた。「やさしい日本語」がマイノリティーの方たちにとって有効であることを知り勉強になった。
- ・とても勉強になり、これからの自分にも役立てたい。吉開先生のお持ちの「日本語能力検定」取りたいと思う。

5. 「やさしい日本語」は知っていましたか。



6. 非公開型インターネット掲示板「Sli.do」についての満足度や感想を教えてください。



【ご意見（抜粋）】

- ・参加型で面白いけど、ネット環境が良くなかった。
- ・会場内が暗くて、皆さんのリアルタイムの声が見えづらかった。会場内の方と情報共有できる試みは大変良いものだと思うので、改善して今後のイベントでも活用してもらいたい。
- ・手をあげなくてもいいので言いやすい。
- ・良い試みだと思ったが、やや時間が足りないように感じた。パネリスト討論とは別に、そのコーナーを設けても良かったのでは？
- ・リアルタイムで意見交換できるアイデアは面白いと思うが、あまり活用しきれなかった感がある。
- ・会場の方々の考え方がわかって面白かった。
- ・読んでいるとお話が聞けなかったりして難しかった。話を聞いていると読めなくて。
- ・手元でも意見や質問を見ることができるため、いいと思うが、ネット環境を使うことのできない方向けにも配慮が必要だと思う。
- ・最新機能だがお年寄り向けではない。従来とおり手を挙げて質問するので良いのかもと思ったが、効率的で上手な方法とも感心した。
- ・機械操作はわずらわしい上、会場のスライド（プロジェクター）は小さくて見えなかった。

7. その他、ご意見やご要望がありましたら、お聞かせください。(抜粋)

- ・やさしい日本語 + 英語など他の言語で是非、日本に縁のある外国人に日本や日本人の良さを伝えて、日本の理解者を増やしたい。これから人口減少化する日本を世界の中で知ってもらうにはどうすればいいか危機感を持っている。
- ・やさしい日本語は、相手の立場に立って、また相手を認めること これはUDですね。区民にやさしい日本語と同時にUDを広めてほしい。
- ・東京に10年近く住むフランス人の友人は、”社畜”という言葉を教えてもらったほど日本語ができ日本で働いているが、電車で友人の隣に座るの嫌がる日本人が多いそうだ。言葉だけでなく、日本人の外国人への寛容さが今後広がることを願っている。ありがとうございました。
- ・今後、海外からいらしている方々に少しでもお役に立てる活動をしていきたいと思う。ブラジル人、ペルー人、アメリカ人、みな生活を共にすることで、不安、心配など抱える問題は同じだった。人として、やさしく接してもらふこと、これが一番大切だと思う。
- ・やさしい日本語は私達ろう者は得意。筆談になるが、外国人に日本語を教えたり、おもてなしをしたい。こういうチャンスをつくってください!! 聞こえる外国人とも交流したい。
- ・知人からこのシンポジウムのことを聞き、区のHPで詳細を調べたが、目的のページにたどりつくのが難しかった。
- ・多文化共生プランは大切だと思う。都の観光ボランティアとの連携も必要だと思う。